

# 知事コメント

令和3年11月16日(火)

「リバウンド防止と社会経済活動の両立期間」が開始されてから15日余りが経ちました。

11月1日以降、リバウンドを防止するために、段階的な経済対策を講じながら、県民の皆様には感染対策の徹底を呼びかけているところです。

(昨日は、1年4カ月ぶりに新規陽性者がゼロになるなど) 本日時点において感染の急速な再拡大はみられておらず、県内の療養者数は100人を下回り、人口10万人当たりの直近1週間の新規陽性者数が1.14人となるなど、多くの指標において昨年7月の流行前に相当する水準まで改善が見られております。

県民の皆様の感染対策の効果が確実に表れていることに深く感謝申し上げます。

県としては、段階的な社会経済活動再開として、昨日、15日から、「おきなわ彩発見キャンペーン第4弾」の「同一島内の旅行」の利用が開始されたところですが、本日は、「島をまたぐ旅行」の開始時期について、スケジュールの前倒しを行うこととしましたので、発表いたします。

前倒しの検討に当たっては、①人口10万人当たりの新規陽性者数(1週間当たり) ②病床占有率 の指標を地域ごとに評価するとともに、疫学統計・解析委員会の解析結果及び直近のデータを参考にいたしました。

直近1週間あたり人口10万人当たりの新規陽性者数については、本島1.02人、宮古1.76人、八重山0人となっており、評価基準としていた10万人当たりの指標、本島15人以下、宮古・八重山25人以下を下回っております。

病床占有率の指標についても、本島 4.93%、宮古及び八重山ともに 0%となっており、評価基準としていた 45%以下を下回っており、各地域において医療の逼迫状況は見られません。

また、昨日の疫学統計・解析委員会の解析報告において、直近1週間当たりの実効再生産数は本島 0.28、宮古 1.48（新規陽性者が0人から1人増えた）、八重山 0.4となっております。

直近1週間当たりの新規陽性者数も前週の49人から17人に減少していることや、重症者用病床占有率の指標等を総合的に勘案し、「島をまたぐ旅行」の開始時期の前倒しを決定いたしました。

「島をまたぐ旅行」の開始時期ですが、11月11日の記者会見において、基準をクリアした場合には、11月17日から予約・販売を開始し、11月19日から利用開始を行うと発表しておりましたが、直近の感染状況や、補正予算の議決にかかる附帯決議及び離島振興協議会からの要請も踏まえ、予約・販売の開始に加え、利用開始についても同日11月17日に前倒しすることとしました。

「島をまたぐ旅行」については、医療提供体制が脆弱であることなど、離島への十分な配慮を行う必要があることから、原則、ワクチン接種・検査陰性証明の提示を条件といたしますので、県民の皆様におかれましては、旅行前のワクチン接種、PCR等検査による陰性をご確認のうえ、キャンペーンをご利用くださいますようお願い申し上げます。

ワクチン接種完了の確認方法については、接種済証などの紙、写真画像と、免許証などの身分証との照合による本人確認を基本としながら、民間事業者が提供するアプリなどの活用も行っていきたいと考えております。

また、PCR等検査の陰性の確認については、出発前72時間以内のPCR検査の陰性の証明書、メールを確認する方法等により、実施いたします。

キャンペーンのご利用に当たっては、週末は混雑することが予想されますので、密を避けるという観点からも、予約に余裕のある平日のご利用についてご検討いただければ幸いです。

また、事業者の皆様におかれましては、社員のリフレッシュや、福利厚生の一環としてご利用いただくこともできますので、是非、積極的にキャンペーンをご活用くださいますようお願いいたします。

県民の皆様の感染対策のご協力により、感染状況は改善していることに対し、深く感謝申し上げますとともに、引き続き、自身やご家族、身近な人たちの体調に気を付けて頂き、人混みでのマスク着用や公共の場における手指衛生など基本的な感染対策の徹底をお願いします。